

平成 29 年 9 月 30 日

芦屋市企画部市民参画課  
課長 山田 弥生 様

(あしや市民活動センター指定管理者)  
特定非営利活動法人あしや NPO センター  
事務局長 橋野 浩美  
担当 橋野・出口(文責)

「公光分庁舎合同避難訓練」報告書 (リードあしやのみ)

- 日時：平成 29 年 9 月 22 日 (金) 16:00～16:30
- 参加者：職員 6 名 (内 1 名市民参画課)・当日会館利用者 3 名  
他、芦屋市経済振興課・芦屋市男女共同参画推進課
- 内容：公光分庁舎北館 2 階給湯室にて出火
  - ・出火場所確認
  - ・職員は各担当の活動を行い、避難訓練をする。(役割分担表参照)
  - ・水消火器で使い方を学ぶ。
  - ・消防本部より訓練についての講評を聞く。
  
- 全体の振り返り
  - ①初期消火について
    - ・近隣施設から初期消火にかけつけるのが遅いと感じた。(リードからの避難が終わってからきた) 火事になったことの認知が遅かった近隣施設は、初期消火に行かない判断もできるようになると良いと思った。
  - ②消防署への通報について
    - ・電話の横にある「通報マニュアル」を見ながら通報できたので、落ち着いて住所などの情報を伝える事ができた。
  - ③避難誘導について
    - ・エレベーターを使用禁止にしていたが使用した人がいた。
  - ④その他
    - ・訓練担当された消防職員の説明があまり十分ではなかった。消火器の効果的な使い方の説明がなかった。(炎の根元にかけるとか) 何秒もつか、消火剤の効果(使途)についてなどの説明がなかった。
    - ・避難して集合した際、消防職員からの避難時の感想や注意点など全体の前で伝えてほしいと感じた。
    - ・来館者の協力があまりなかったことから、協力者に依頼する方法を工夫する。(お土産など)
  
- 担当者の振り返り
  - ・今回初めて 3 課連携の訓練をした。利用者が多い場合は、各課の初期消火班と避難する利用者が自動ドアの前で混雑することが予想される。その場合は避難を優先にする。
  - ・会議室 B の避難について消防署に相談した。入口から避難できない場合、窓を乗り越えて避難するしかないと言われた。会議室 B の窓の外が、金網になっているので足場が悪い。避難経路にもなっているので、通路の改善が必要である。